

芝生用殺菌剤

ダコニールターフ

フロアブル

ダコニールターフは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。



西洋芝(ベントグラス)では少水量散布(100mℓ/m²)も可能です。
スプレーヤー散布にも対応できます。

① ダコニールターフの特長

1. コケ類・藻類と病害の同時防除ができ、防除コスト面からも価値が高い。
* 計画的に予防散布する事で、病原菌の侵入・感染やコケ類・藻類の発生・拡大を防ぎます。
2. 耐性菌の出現事例がなく、組み合わせの母剤としても安心して使える。
* TPN剤の総使用回数は8回 / 年です。防除目的によっては、他剤との組み合わせでもお使い頂けます。
3. 西洋芝（ベントグラス） / 藻類発生初期においては希釈水量が 100 ~ 500mℓ / m²であり、スプレーヤーによる少水量散布にも対応できる。
* 場合により薬液が白く葉に残る事があります。初めてお使いになる方は、本散布前にお試しください。

② ダコニールターフの作用特性

有効成分TPN（クロロタロニル）は、病原菌の原形質やエネルギー代謝系の種々のSH酵素を阻害すると考えられ、多作用点接触活性型の保護殺菌剤である。

”組み合わせの母剤として最適な基幹保護殺菌剤”

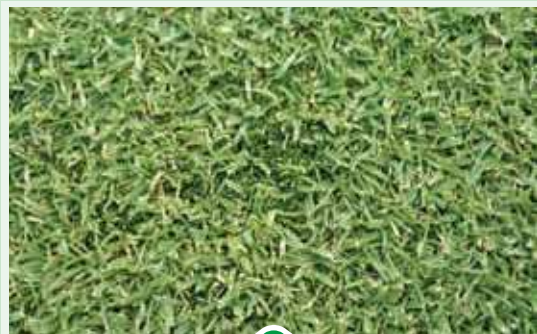
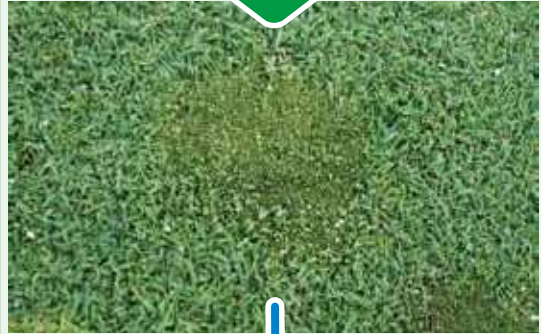


* SDHI剤 : コハク酸脱水素酵素阻害剤
** QoI剤 : ユビキチノール酸化酵素阻害剤
*** DMI剤 : 脱メチル化阻害剤

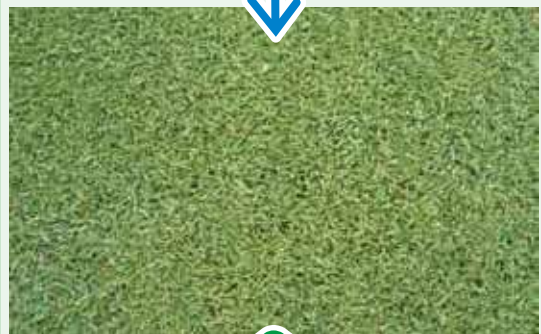
コケ類

1. 試験場所：兵庫県Aゴルフ場(ベントグリーン/練習グリーン)
2. 対象雑草：コケ類(ギンゴケ)
3. 薬剤処理日：2012年5月29日、6月11日
4. 薬剤処理量：2mℓ/m²
5. 散布水量：500mℓ/m²
6. 調査日：2012年6月27日(2回目処理16日後)

コケ(ギンゴケ)生育初期
2012年5月29日処理時



無処理区 2012年6月27日



ダコニールターフ処理区
2012年6月27日(2回目処理16日後)

社内試験例

炭疽病

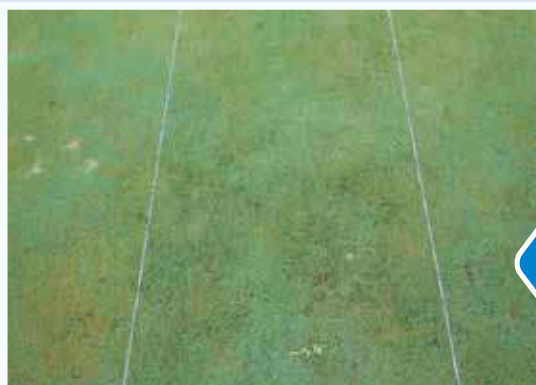
&

藻類

1. 試験場所：新潟県Bゴルフ場(ベントグリーン/ナーセリ)
2. 対象病害：炭疽病/対象雑草：藻類
3. 薬剤処理日：2012年6月19日、7月5日
4. 薬剤処理量：2mℓ/m²
5. 散布水量：500mℓ/m²
6. 調査日：2012年7月20日(2回目処理15日後)



ダコニールターフ処理区
2012年7月20日調査時撮影



無処理区
2012年7月20日調査時撮影

1.有効成分及び物理化学的性質

商品名:ダコニールターフ
種類名:TPN水和剤
有効成分:TPN (PRTR・1種) …53.0%(720g/ℓ)
*ダコニールターフフロアブルは製剤品の比重が約1.36ですので、720g/ℓは53%(W/W)となります。
製剤の性状:類白色水和性粘稠懸濁液体

2.人畜に対する安全性

- 人畜毒性:普通物(原体)※「普通物」とは、毒物、劇物のいずれにも該当しないものを指している通称
- 急性毒性(製剤)
LD₅₀(ラット♂,経口) 4,317mg/kg
LD₅₀(ラット♂♀,経皮) >2,000mg/kg

3.環境に対する安全性(製剤)

水産動植物に対する影響	コイ	LC ₅₀ (96hr):0.0775mg/ℓ
	オオミジンコ	EC ₅₀ (48hr):0.34mg/ℓ
	藻類	ErC ₅₀ (0-72hr):0.85mg/ℓ

適用病害、雑草の範囲及び使用方法

2022年9月末現在の登録内容

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	TPNを含む農薬の総使用回数
西洋芝 (ベントグラス)	炭疽病	250~500倍	0.5ℓ/m ²	発病初期	8回以内	散布	8回以内
	葉腐病(ブラウンパッチ)	650~1000倍	1ℓ/m ²				
日本芝	ヘルミントスポリウム葉枯病	1000倍					

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	TPNを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
西洋芝 (ベントグラス)	コケ類	春夏期芝生育期 (コケ類生育初期)	2ml/m ²	500ml/m ²	8回以内	散布	8回以内
	藻類	芝生育期 (藻類発生初期)		100~500ml/m ²			
日本芝		芝生育期 (藻類発生前)	1.0~1.54ml/m ²	1000ml/m ²			

⚠ 効果・薬害等の注意

- 1) 使用直前に、容器をよく振る。
- 2) 石灰硫黄合剤とは混用しない。
- 3) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にかからないようにする。
- 4) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠ 安全使用上の注意

- 1) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- 2) 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- 3) 夏期高温時の使用はさけること。
- 4) 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用すること。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。



- 5) かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけること。
- 6) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- 7) 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

魚毒性等



- 1) 水産動物(魚類)に強い影響を及ぼす恐れがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用する。養殖池周辺での使用は避ける。
- 2) 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 3) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

ご使用にあたっては

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空ビンは圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。

この印刷物の記載内容は2022年9月末現在のものです。

販売: 株式会社 理研グリーン 販売: レインボー薬品株式会社

取り扱い

ダコグリーン普及会 (事務局)

株式会社 エイサー・エス・バイオテック